

高齢者等の移動手段確保に向けたビジョンを描く ～持続可能で新たな公共交通を目指して～

高齢者等の移動手段確保方策検討に関する調査研究 中間報告

開催のご案内

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび「高齢者等の移動手段確保に向けたビジョンを描く～持続可能で新たな公共交通を目指して～（高齢者等の移動手段確保方策検討に関する調査研究 中間報告）」を開催することといたしましたので、ご関心をお持ちの皆様におかれましては、ご参加を賜りますようお願い申し上げます。また、ご関心をお持ちの方々に広くご周知頂ければ幸いです。

ご参加に当たりましては、大変恐縮ですが、申込み専用 URL からお申込み頂きますようお願い申し上げます。

敬具

記

○高齢者等の移動手段確保方策検討に関する調査研究 中間報告

日 時：2022年6月8日（水）15：00～17：45

会 場：オンライン配信（Zoom ウェビナー）

および会場参加（運輸総合研究所2階会議室に約30名予定）

テ ー マ： 高齢者等の移動手段確保に向けたビジョンを描く

～持続可能で新たな公共交通を目指して～

1. 基調講演

テーマ：「高齢者等の移動手段確保に向けて－交通事故防止に向けて高齢者がマイカーから転換できるか－」

鎌田 実 高齢者等の移動手段確保方策検討委員会座長、

東京大学名誉教授、（一財）日本自動車研究所・代表理事 研究所長

2. 中間報告

テーマ：「高齢者等の移動手段確保方策検討委員会における調査研究 中間報告」

小泉 誠 （一財）運輸総合研究所 主任研究員

3. 講演

テーマ：「一般交通と福祉交通の果たしてきた役割とこれからの方向性」

秋山 哲男 高齢者等の移動手段確保方策検討委員会委員、中央大学研究開発機構教授

テーマ：「高齢者の介護予防・生活支援の観点からの示唆」

服部 真治 高齢者等の移動手段確保方策検討委員会委員、

（一財）医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構

政策推進部 副部長（企画推進担当）研究部 主席研究員

4. パネルディスカッション・質疑応答

コーディネーター： 鎌田 実 高齢者等の移動手段確保方策検討委員会座長

パネリスト：以下、高齢者等の移動手段確保方策検討委員会委員（予定）

秋山 哲男 中央大学研究開発機構教授

河崎 民子 特定非営利活動法人全国移動サービスネットワーク・副理事長

服部 真治 （一財）医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構
政策推進部 副部長（企画推進担当）研究部 主席研究員

三星 昭宏 近畿大学名誉教授

吉田 樹 福島大学経済経営学類准教授

若菜 千穂 特定非営利活動法人いわて地域づくり支援センター常務理事

参加費：無料

お申込み：下記の URL よりお申し込みください

<https://krs.bz/jterc/m/seminar220608>

（申込期限：6月6日（月）まで）



※お申し込み頂いた方には、6月7日（火）午後に視聴用 URL をご送付いたします。

5. 概要

高齢者など地域住民の生活の足を確保するための公共交通は、人口減少・少子高齢化等の影響により、輸送需要の減少や運転者不足等の厳しい経営環境に置かれています。また、年齢的理由や身体的理由等で自家用車を所有あるいは自ら運転できない「交通弱者」の移動手段の確保は極めて重要な課題となっています。高齢者等にとって必要となる移動手段が持続可能な形で確保されるためには、将来にわたるビジョンを描き、長期的な視野を持ちつつ、着実な取組みを進めていくことが求められています。

このため、運輸総合研究所では、2021年11月より「高齢者等の移動確保手段確保方策検討委員会」（座長：鎌田実 東京大学名誉教授）を設置して調査研究を進めてきていますが、将来にわたって高齢者等の移動手段確保実現を図るためのビジョン・考え方等についての中間報告をいたします。また、本委員会委員によるパネルディスカッション・参加者との質疑応答を通じて、高齢者等の移動手段を確保することで、地域課題を解決し、住民の生活の質の維持・向上につながるような新たな公共交通に向けての考察を深めていくこととしております。

お問合せ：一般財団法人運輸総合研究所 （担当：小泉・松岡）

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-18-19（UD 神谷町ビル）

TEL：03-5470-8415 FAX：03-5470-8401

E-mail：collo@jttri.or.jp

HP：<https://www.jttri.or.jp/>

6. ご経歴

●鎌田 実 東京大学名誉教授、一般財団法人日本自動車研究所・代表理事 研究所長

(ご経歴)

1982 年 東京大学工学部機械工学科 卒業
1987 年 東京大学大学院工学系研究科 博士課程修了
1990 年 東京大学工学部講師
1991 年 同 助教授
2002 年 東京大学大学院工学系研究科教授
2009 年 東京大学高齢社会総合研究機構 機構長・教授
2013 年 東京大学大学院新領域創成科学研究科教授
2020 年 現職
専門は、車両工学，人間工学，福祉工学，ジェロントロジー。
2015 年 国土交通省 交通文化賞
2015 年，2021 年，2022 年 自動車技術会論文賞
2022 年 日本機械学会論文賞
2015 年より，経産省・国交省 自動走行ビジネス検討会座長



●秋山 哲男 中央大学研究開発機構教授

(ご経歴)

学 歴

1972 年 明星大学理工学部
1991 年：東京大学（工学博士）

職 歴

1975 年 東京都立大学工学部助手
2000 年 東京都立大学都市科学研究科教授
2005 年 東京都立大学都市環境学部（観光科学研究科）教授
2010 年 首都大学東京都市環境学部教授(退職)
2014 年 中央大学研究開発機構教授(現在に至る)

論文賞

研究会優秀論文賞（公共施設における人流誘導のための動的案内サインの検討・平成 28 年度情報処理学会）

論 文 （2014～2018 年）

- 1.秋山哲男 交通政策基本法以後の高齢者の足を守る公共交通計画,都市問題, 2014.06 第 05 巻第 6 号,2014 年 06 月
- 2.秋山哲男 人口減少社会における高齢者モビリティの確保、運輸と経 2014.02、pp.56-60,2014 年 02 月
- 3.Soichiro Minami, Tetsuo Akiyama, Hidetada Higashi et al., Ridesharing service and Policy, Role and Means of Local Governments,26th International Colloquium of



GERPISA, Sao Paul University, 12th June 2018.

調査レポート (2018～2020 年)

1. 「フィンランドにおける MaaS (Mobility as a Service) 実践内容に関する調査報告書」 2018 年 pp.1-33 中央大学 研究開発機構、フィンランド大使館協力
2. 「エストニアにおける電子政府実践内容及び MaaS への応用に関する調査報告書」2019 年 pp.1～44 中央大学研究開発機構、エストニア共和国大使館協力
3. オーストリアの交通計画と運輸連合【ウィーン・クラーツの公共交通を中心に】2020 年 中央大学研究開発機構、ウィーン工科大学協力

社会活動: 2022 年度 国土交通省、地方自治体のバリアフリーと交通計画の委員(川崎市、神奈川県、新宿区、調布市、大田区、川口市、本庄市、旭川市、豊島区)

専門分野: 都市交通計画、ユニバーサルデザイン、観光計画

●服部 真治 一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構
政策推進部 副部長(企画推進担当) 研究部 主席研究員

(ご経歴)

学歴

- 1996 年 法政大学経済学部経済学科 卒業
2007 年 法政大学大学院政策科学研究科修士課程修了(政策科学)
2020 年 千葉大学大学院医学薬学府博士課程修了(医学)

職歴

- 1996 年 東京都八王子市入庁
2014 年 厚生労働省老健局総務課・介護保険計画課・振興課併任課長補佐
2016 年 医療経済研究機構入職(現在に至る)

兼職

放送大学客員教授、日本老年学的評価研究機構(JAGES)理事、さわやか福祉財団エグゼクティブアドバイザー、東京都健康長寿医療センター非常勤研究員等

研究分野

介護保険制度、地域包括ケアシステム

著書

- ・私たちが描く新地域支援事業の姿 地域で助け合いを広める鍵と方策, 堀田力・服部真治, 中央法規, 2016 年(共編著)
- ・地域で取り組む 高齢者のフレイル予防, 【監修】一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会【編著】辻哲夫、飯島勝矢、服部真治, 中央法規出版, 2021 年(共著) など

